

科目名 「 歯科診療補助論Ⅲ 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	和田 由紀子
科目ナンバリング	C-10-⑦-I-27	
単位数	1	
学修目標 (GIO)	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な知識、技能および態度を身につける。	
担当教員	副校長 : *多田 充裕 歯科麻酔学 : *石橋 肇 顎顔面外科学 : *飯塚 普子 学事委員 : *齋藤 真規 専任教員 : *和田 由紀子, *鷹巣 美香 *門脇 明美 *中澤 広美	
教科書	最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本『歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本『歯科材料』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株)	
参考図書	最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 新・歯科衛生士広育マニュアル『歯科矯正学』葛西一貴編集 クインテッセンス出版(株) 最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』医歯薬出版(株) 歯科衛生士版『全身管理と救急蘇生法』渋谷鉦監修 学際企画 歯科衛生士講座『歯科衛生士のための口腔外科学』古森孝英編著 永末書店	
評価方法 (EV)	講義は定期試験(60%), 実習は実技試験(20%), 実習課題・履修態度等(20%)にて評価する。	
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科衛生士の実務経験を活かし、歯科治療でお求められる歯科診療の補助について説明する。 2学年ではさらに専門的な各診療科における歯科診療補助について学んでいく。 1学年で学んだ基本的な知識・技能・態度を繰り返し訓練し、後期の臨床実習に向けて、手技を高めてほしい。手技を得る科目であるため、毎時間を大切に臨む必要がある。医療人として体調管理を行い欠席しないよう心がけること。原則として欠席した学生への補講は行わない。わからないことやできないことは、講義・実習の中で積極的に質問し、その場で解決すること。 *実習回は時間延長の場合がある。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/8 (木)	医療安全管理	<p>【授業の一般目標】            歯科診療において偶発事故を起こさないために、医療安全を再認識し、場面に応じた適切な知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】            ・医療安全の目標を述べることができる。            ・偶発事故について適切な対応法を説明できる。            ・安全な器具の拭き取り操作を実施できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】            最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』第5章を読んでおくこと。(60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】            講義・実習</p>	＊和田 ＊鷹 ＊門 田 巢 脇
第2回 4/15 (木)	歯科診療時の診療補助～矯正歯科～	<p>【授業の一般目標】            矯正歯科治療時の補助に対応するために必要な治療手順、薬剤および器材の使用法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】            ・治療時に必要な器材の名称と用途を説明し、準備ができる。            ・接着剤の種類と用途を説明し、準備ができる。            ・スーパーボンドの取り扱いができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】            ・最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』第4章6を読んでおくこと。            ・最新歯科衛生士教本『咀嚼障害・咬合異常2 矯正歯科』Ⅲ編2章 参考(60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】            講義</p>	＊和田
第3回 4/22 (木)	歯科診療時の診療補助～保存治療①～	<p>【授業の一般目標】            保存治療の補助に対応するために必要な治療手順、薬剤および器材の使用法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】            ・防湿法の種類を列挙できる。            ・防湿法に用いる器具や材料の名称と用途を説明できる。            ・ラバーダム防湿の使用器材の名称・取り扱い・術式を述べる            ことができる。            ・歯肉圧排, 隔壁法, 歯間分離の使用器具器材の名称・取り扱い, 術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】            最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』3章4を読んでおくこと。(60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】            講義</p>	＊和田

<p>第4回 5/6 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～保存治療②～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存治療の補助に対応するために必要な治療手順，薬剤および器材の使用法を修得する。 講義で学んだラバーダム防湿法，歯肉排除法，隔壁法に必要な器具・器材，装着の流れの技能・態度をマネキン実習にて修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・マネキンにてラバーダム防湿ができる。 ・マネキンにて隔壁法に用いる器具の操作ができる。 ・マネキンにて歯肉排除法に用いる器具の操作ができる。 ・マネキンにて歯間分離法に用いる器具の操作ができる。 【準備学修項目・時間】 講義の内容を十分に復習して臨むこと。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*和 田 *鷹 巢 *門 脇 *齋 藤</p>
<p>第5回 5/13 (木)</p> <p>第6回 5/20 (木)</p> <p>第7回 5/27 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～保存治療③～</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で修得した内容をもとに、実際の口腔内で完全防湿ができるようになるためにラバーダム防湿に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・患者にラバーダム装着の説明ができる。 ・ラバーダム防湿1歯露出法を実施できる。 【準備学修項目・時間】 講義で学んだ器具の名称・用途・術式を十分復習して臨むこと。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*和 田 *鷹 巢 *門 脇 *齋 藤 *多 田 *地 主</p>
<p>第8回 6/3 (木)</p>	<p>歯科治療中の全身 的偶発症への対応 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 安全な歯科医療を提供するために、歯科治療中の全身的偶発症の症状及び対応法を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. バイタルサインを把握できる。 2. 患者を状況に応じた適切な体位にすることができる。 3. 神経性ショックと過換気症候群の症状及び対処法を説明できる。 4. 一次救命処置(BLS)について説明できる。 【準備学修項目・時間】 バイタルサインについて (60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*石 橋</p>
<p>第9回 6/10 (木)</p>	<p>歯科治療中の全身 的偶発症への対応 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 患者急変時に対応できるように、一次救命処置を身につける。 【行動目標 (SB0s)】 1. 周囲の安全確認を行える。 2. 胸骨圧迫を行える。 3. 口対口人工呼吸を行える。 4. AEDを安全に使用できる。 【準備学修項目・時間】 一次救命処置の手順を復習しておく。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*石 橋 *和 田 *鷹 巢</p>

<p>第10回 6/17 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～口腔外科①～</p>	<p>【授業の一般目標】 ・口腔外科治療の補助に対応するために必要な治療手順，薬剤および器材の使用法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・口腔外科治療の概要を述べるができる。 ・抜歯，外科外来手術について説明できる。 □術後の痛みの指導について説明できる。 【準備学修項目・時間】 『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を読んでおくこと。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*飯塚</p>
<p>第11回 6/24 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～口腔外科②～</p>	<p>【授業の一般目標】 ・口腔外科治療の補助に対応するために必要な治療手順，薬剤および器材の使用法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・抜歯の手順，使用器具の名称，取り扱いを説明できる。 □外来外科手術器具器材の取り扱いを説明できる。 【準備学修項目・時間】 『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を読んでおくこと。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*飯塚</p>
<p>第12回 第13回 7/1 (木) (時間延長)</p>	<p>実技試験</p>	<p>【授業の一般目標】 主要歯科材料を正しく扱うために必要な手技を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・後期臨床実習に向けて、主要歯科材料の取り扱いについて実技試験を実施し、形成的評価を行う。 【準備学修項目・時間】 1学年で学んだ主要歯科材料の取り扱いについて十分に復習・訓練して試験に臨むこと。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*和田 *鷹 *門 *中 田 巢 脇 澤</p>
<p>第14回 7/15 (木)</p>	<p>実技試験</p>	<p>【授業の一般目標】 主要歯科材料の取り扱いについて自分の手技を振り返り，改善点を見つけ，臨床実習に向け確実な手技を身につける。 【行動目標 (SB0s)】 ・フィードバックから試験を振り返り，実技の向上を図ることができる。 【準備学修項目・時間】 ・自分自身で実技試験について振り返りをしておくこと。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実技試験のフィードバック</p>	<p>*和田 *鷹 *門 *中 田 巢 脇 澤</p>

<p>第15回 7/29 (木)</p>	<p>まとめ</p>	<p>【授業の一般目標】        主要歯科材料の取り扱いについて自分の手技を振り返り、改善点を見つけ、臨床実習に向け確実な手技を身につける。後期の臨床実習に備え、実技や知識の不足部分を補い、総まとめ行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】        ・自信をもって主要歯科材料が取扱えるよう手技を確実なものにできる。</p> <p>【準備学修項目・時間】        ・自分自身で実技試験について振り返りをしておくこと。(60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】        講義・実習</p>	<p>*和田        *鷹        *門        *中        田        巢        協        澤</p>
--------------------------	------------	--	--